

# 平成 29 年度事業報告

## 事業の概況

認定された公益事業を継続し、着実に実施した。また、協会運営についても、円滑に実施することが出来た。当年度に行った事業の概況は次の通りである。

### I 公益目的事業部門

#### 1. 糖類に関する正しい知識の普及・啓発のための事業及び食の安全を基本とした食育推進事業 (公益目的事業1)

##### (A) 料理学校を媒体とした普及・啓発事業及び食育推進事業

最大手料理学校の株式会社ホームメイドクッキングを媒体として全国展開により実施した。

全国直営校 81 教室、指定校（自宅で料理教室開催）120 教室、親子料理教室 36 教室の合計延 385,500 名の生徒に対し、当協会が農学博士と共にセミナーや砂糖工場見学等を通して糖類の正しい知識を理解させた専任講師が、通常の料理教室と食文化講座及び子供向け食育講座等に於て啓発事業を実施した。

イ. 東日本直営校 40 教室	延 194,100 名
ロ. 西日本直営校 41 教室	延 168,900 名
ハ. 指定校 733 教室の内 120 教室	延 21,600 名
ニ. 親子料理教室 36 教室	延 900 名

上記の普及・啓発活動が各料理教室の生徒に有効に実施されているかを調査、指導のために、全職員が順次全国の料理教室に出張して実地見分した。又、教室の生徒へのアンケート調査を実施した。

##### (B) 糖類セミナー事業

(1) 各都市の地元ラジオ局やテレビ局と連携を取りながら広く募集告知を行いセミナーを開催。講師（農学博士）と参加者との間で質疑応答や意見交換などに職員も出張、参加して積極的な交流を図り糖類に関する正しい知識の理解を深めた。セミナー終了後にアンケートを実施、参加者の啓発効果を確認した。また、ラジオ局やテレビ局のニュース等でもトピックスとして放送して、更に啓発効果を高めた。

##### <開催概要>

イ. 平成 29 年 6 月 27 日 (火) 長野市	後援 信越放送 (SBC)
応募者 150 名 参加者 105 名	アンケート回答者 95 名
ロ. 平成 29 年 7 月 18 日 (火) 函館市	後援 STV ラジオ
応募者 110 名 参加者 83 名	アンケート回答者 71 名
ハ. 平成 29 年 10 月 17 日 (火) 大分市	後援 大分放送 (OBS)
応募者 140 名 参加者 112 名	アンケート回答者 109 名
ニ. 平成 29 年 11 月 20 日 (月) 東京都	後援 ニッポン放送
応募者 360 名 参加者 283 名	アンケート回答者 275 名
合計 応募者 760 名 参加者 583 名	アンケート回答者 550 名

(2) 東京セミナーと連携して、より深く糖類に関する知識の普及・啓発及び食育の啓蒙を図るため、東京セミナーの提携ラジオ局の(株)ニッポン放送を通じてオリジナル番組を放送し好評を得た。

##### (C) 全国ボウリング公認競技場協議会との連携による普及・啓発事業

誰もが手軽に楽しめて健康増進に役立つスポーツ部門での高参加率を誇るボウリングを通じて普及・啓発事業を実施した。

平成 29 年 4 月 10 日 (月)～6 月 10 日 (土) 全国ボウリング公認競技場協議会 (全国の主要ボウリ

ング場オーナーで構成されている)加盟の全国46都道府県の50ヶ所のボウリング場にて随時職員が見分した。(参加者約783,000名)

各ボウリング場には「砂糖は脳と体に大切なエネルギー」の横断幕及びポスターを掲出、当会刊行の啓発パンフレット配布、JBC〔(公財)全日本ボウリング協会〕ニュースへの啓発広告掲載。又、来場者へのアンケート調査を実施した。

(D) 全日本小学生ドッジボール選手権大会協賛による普及・啓発事業

未来ある子供達の心身の健全育成を目的とした、(一財)日本ドッジボール協会主催、スポーツ庁、(公財)日本体育協会等の後援の全日本小学生ドッジボール選手権夏季大会に協賛した。

全国46都道府県で予選(578チーム参加)を行い、各県代表チームが全国大会に出場した。上記のうち予選の23県及び全国大会の参加者、その父兄及び観衆に対し、職員が出張して横断幕/ポスター/パンフレットにより普及・啓発事業を実施した。(参加404チーム、参加者約16,640名)また、全国大会出場選手36チーム656名からアンケートを集計した。

2. 糖類に関する調査研究活動に対する助成及び糖類に関する公益活動を行う団体への助成事業

(公益目的事業2)

(1) 「砂糖の生理的代謝と情緒的、精神的影響に関する研究」

- A. 糖尿病とストレスの関係
- B. 心筋梗塞とストレスとの関係の研究
- C. 砂糖投与の記憶、理解力などへの影響
- D. ラットの迷路実験

浜松医科大学名誉教授・食と健康プロジェクト理事長 高田 明和 氏

(2) 「スポーツと菓子に関する研究」

大阪体育大学教授 岡村 浩嗣 氏

上記に対し助成し種々必要な資料を提供した。

3. 糖類に関する情報の収集、整理、提供事業

(公益目的事業3)

橋本 仁 農学博士が、資料、情報収集のため学会シンポジウムへ参加した。

① 澱粉研究懇談会

- 1. 開催地 静岡県伊東市
- 2. 開催日 平成29年5月24日(水)～27日(土)

② 環状オリゴ糖シンポジウム

- 1. 開催地 愛知県名古屋市 愛知学院大学
- 2. 開催日 平成29年8月30日(水)～9月2日(土)

③ 日本応用糖質科学会 平成29年度大会

- 1. 開催地 神奈川県藤沢市 日本大学湘南キャンパス
- 2. 開催日 平成29年9月6日(水)～7日(木)

4. 学芸員等を含む専門委員会で選定した特定美術品展示、公開及び国公立等の美術館への貸出しにより広く国民の文化の発展に寄与する事業

(公益目的事業4)

(1) 平成29年7月22日(土)～9月10日(日)、埼玉県川越市立美術館へ特定美術品61点を貸出展示、展覧会「名品と出会う 企業コレクションによる日本近代洋画展」を開催した。入場者数4,454名

(2) 平成29年9月23日(土)～11月12日(日)、愛知県一宮市三岸節子記念美術館へ特定美術品61点を貸出展示、展覧会「名品と出会う 企業コレクションによる日本近代洋画展」を開催した。入場者数4,266名

(3) 平成 29 年 12 月 29 日 (金) ~ 平成 30 年 2 月 25 日 (日)、静岡県掛川市二の丸美術館へ特定美術品 61 点を貸出展示、展覧会「名品と出会う 企業コレクションによる日本近代洋画展」を開催した。

入場者数 3,026 名

(4) 平成 29 年 12 月 4 日 (月) ~ 8 日 (金)、協会 1 階ロビー、2 階ホワイエ、小ホールに於いて、特定美術品 41 点を展示。所蔵美術品展を開催した。入場者数 一般 61 名 会員 34 名 合計 95 名

## II 収益事業部門

### 1. 会館及び施設の管理運営並びに賃貸を行う事業

(収益事業 1)

(1) 会館の賃貸業務及びビル管理、維持の合理化により更なる経費圧縮に努めて、本事業の費用対効果を高め、これを財資とする公益事業の拡大に努めた。

(2) 1 階ロビー、ホール、図書室、娯楽室、談話室他諸施設の更なる有効利用を図った。

## III 管理部門

### 1. 講演会の企画、開催

会員等の連帯感、教養を高めて公益事業への更なる協力を促すため、各業界の著名な講師による講演会を次の通り開催した。

イ. 平成 29 年 4 月 25 日 (火)	「究極のラジオ体操！効く人効かない人？」 NHK ラジオ体操指導者	多胡 肇 氏
ロ. 平成 29 年 5 月 25 日 (木)	「朝鮮半島情勢の新展開」 慶應義塾大学名誉教授	小此木 政夫 氏
ハ. 平成 29 年 7 月 20 日 (木)	「なぜ聖徳太子はいなかったのか」 奪回・古代研究会主宰	室伏 志咩 氏
ニ. 平成 29 年 9 月 25 日 (月)	「世界の中の日本 日本経済は復活できるか」 経済ジャーナリスト	須田 慎一郎 氏
ホ. 平成 29 年 10 月 26 日 (木)	「豊臣秀吉の大阪城を発掘する」 (公財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター理事	中尾 芳治 氏
ヘ. 平成 29 年 11 月 29 日 (水)	「ひでたけのラジオ人生 50 年」 フリーパーソナリティ	高嶋 秀武 氏
ト. 平成 30 年 2 月 28 日 (水)	「サラリーマンの力」 元ニッポン放送社長	亀淵 昭信 氏

### 2. 情報機器による事務の合理化等

情報機器による事務の合理化等により、適切な運営・管理を行い、引き続き経費の削減に努めると共に、余剰資金 (特定預金約 10 億円) に対しては、マイナス金利を克服して、元本保証を前提としての高率な運用益を創出した。

## 協会運営に関する事項

### 1. 社員総会

平成 29 年 6 月 20 日午前 11 時より、当協会会議場に於いて、第 6 回社員総会を開催 (出席正会員 316 名)、次の議案を付議した。

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告並びに平成 28 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書及び財産目録承認の件  
原案の通り承認議決した。

第2号議案 理事9名選任の件

原案の通り承認議決した。

第3号議案 監事2名選任の件

原案の通り承認議決した。

第4号議案 定款一部変更の件 <特別決議>

原案の通り承認議決した。

- 報告事項 (1) 平成29年度事業計画書並びに収支予算書(正味財産増減予算書)について説明があった。  
(2) 評議員13名委嘱について報告があった。

2. 理事会

当期中11回開催され、総会提出議案のほか、「公益法人」の事業運営に関する諸案件を始めとする当協会の主要業務につき審議、決定した。

3. 評議員会

当期中1回開催され、総会提出議案を説明したほか、重要な会務等について報告を行った。但し、一般社団法人法第3章第2節第2款及び第3款に規定する「評議員会」ではない。

4. 専門委員会

(1) 総合企画委員会(委員長 高柳雄一氏ほか7名)

当期中1回開催され、会員への支援策について審議し、理事長に答申した。

(2) 会員選考委員会(委員長 橋本仁氏ほか6名)

当期中3回開催され、正会員、賛助会員入会申込者を選考し、理事長に答申した。

(3) 公益委員会〔委員長 岩崎充利氏ほか6名(うち2名社外特別委員)〕

当期中2回開催され、平成30年度の公益事業計画、公益事業予算等を審議し、理事長に答申した。

(4) 行事委員会(委員長 大庭龍夫氏ほか6名)

当期中2回開催され、行事関係予算、協会諸行事の計画等を審議し、理事長に答申した。

(5) 美術品委員会〔委員長 相原英樹氏ほか7名(うち2名社外特別委員)〕

当期中2回開催され、美術品関係予算、特定美術品の展示、公開、国公立等の美術館への貸出し等について審議し、理事長に答申した。

5. 登記及び監督官庁への届出事項等

- (1) 平成29年6月28日、平成28年度の事業報告等に係る提出書を内閣総理大臣宛提出した。  
(2) 平成30年3月29日、平成30年度の事業計画等に係る提出書を内閣総理大臣宛提出した。

6. 会員入退会者数(平成29年4月1日～30年3月31日まで)

入会	法人正会員	1社	
	個人正会員	25名	
	個人賛助会員	3名	
退会	個人正会員	27名	(うち死亡 15名)
	個人賛助会員	1名	

7. 会員数(平成30年3月31日現在)

法人正会員	17社	(前年3月末 16社)
個人正会員	394名	(前年3月末 396名)
個人賛助会員	45名	(前年3月末 43名)
会員総数	456名	(前年3月末 455名)

以上